

30年七試：志願者数確定

30年センター試験確定志願者数は、前年より 6,702人(1.2%)増の58万2,669人!

現役4年連続、既卒者2年連続の増加。現役志願率44.6%で過去最高。

旺文社 教育情報センター 29年12月

大学入試センターはこのほど、30年1月13・14日の両日に実施されるセンター試験の確定志願者数を発表した。

志願者数は58万2,669人で、29年より6,702人(1.2%)増え、3年連続の増加となった。現役生は4年連続、既卒者は2年連続の増加である。男子は3年連続、女子は4年連続の増加。現役志願率は44.6%で、29年のそれまで最高の43.9%を更新して過去最高となった。

都道府県別では全体で前年比1.2%増の中、大阪の6.0%増を筆頭に24都府県が増加した。

●志願者数 582,669人(575,967人; 6,702人増、1.2%増)

<内 訳>

○高校等卒業見込者(現役生) 473,568人(471,842人; 1,726人増、0.4%増)

○高校等卒業生(既卒者) 103,948人(99,118人; 4,830人増、4.9%増)

○「高認」合格者・その他 5,153人(5,007人; 146人増、2.9%増)

○現役志願率 44.6%(43.9%; 0.7ポイント上昇)

○男女別

① 男子 325,999人<55.9%>(321,496人<55.8%>)

② 女子 256,670人<44.1%>(254,471人<44.2%>)

○都道府県別(出身高校等別による)

① 志願者数が増加した主な都府県

大阪(6.0%増)／山口(3.9%増)／東京(3.0%増)／神奈川(2.9%増)／千葉(2.8%増)／高知(2.7%増)／栃木(2.5%増)／茨城(1.9%増)／埼玉(1.9%増)／富山(1.9%増)等

② 志願者数が減少した主な県

青森(2.7%減)／福島(2.7%減)／徳島(2.5%減)／山形(1.9%減)／宮崎(1.9%減)／三重(1.8%減)／滋賀(1.6%減)／福岡(1.6%減)／秋田(1.5%減)／岡山(1.5%減)等

③ 現役志願率の高い主な都府県

東京(58.1%)／広島(55.2%)／愛知(52.5%)／富山(52.1%)／石川(50.7%)／山梨(48.4%)
／新潟(47.5%)／兵庫(47.3%)／愛媛(47.1%)／栃木(47.0%)等

○成績通知希望別

① 通知希望者 444,537人<76.3%>／② 通知を希望しない者 138,132人<23.7%>

注1. 都道府県別の現役志願率を除く()内は、29年データ及び29年対比の増減、等。

注2. < >内は構成比率。

注3. 「高認」は高等学校卒業程度認定試験の略。

注4. 本資料におけるセンター試験「現役志願率」については、p.5の注記を参照。

【特記】

① 志願者数

- 30年3月の高卒者数は、今春に比べ約1万5,000人、1.4%減の約106万人と推測される(旺文社推定、通信制課程含まず)。
- 上記のように、来春の高卒見込者数が1%以上減少する状況で、30年センター試験志願者数が逆に前年より1.2%(6,702人)増加の58万2,669人と、3年連続で増加した主な背景としては、次のような点が挙げられる。
- 現役生の“大学への進学志向”を示す「現役志願率」(現役志願者数<実数>÷現役卒業生数<中等教育学校後期課程含む>)は、23年(55.4%)～26年(54.9%)の4年間における下降もしくは停滞から、27年55.5%⇒28年56.0%⇒29年56.6%と3年連続で上昇している。30年もこうした進学志向の高まりは引き継がれているとみられる。
- 最近の難関私立大の“合格者数絞込み”(定員管理強化)による既卒者の大幅な増加と、私立大の公立化などによる公立大志望者の増加などが志願者数を押し上げた。
- 他方、増加人数における男女別の状況をみると、増加人数に対する女子の比率が低下傾向にある。

30年の志願者増加数6,702人のうち、男子は4,503人(増加人数の67.2%)、女子は2,199人(同、32.8%)で、女子の割合は29年の40.9%(28年は増加人数の90.6%)から8.1ポイント下降。また、30年の志願者数の男子と女子の構成比率も男子55.9%、女子44.1%で、女子は29年より0.1ポイント下降した。

- 30年のセンター試験利用大学・短大は、公立3大学増の国公立697大学/公立1短大減・私立2短大減の151公私立短大である(29年12月初旬現在)。

② 現役志願率

平成2(1990)年のセンター試験(現役志願率15.0%)開始以来、毎年、上昇の一途をたどっていたセンター試験の現役志願率は、23・24年の41.6%(同率)/25・26年の42.1%(同率)と、2度の“停滞状態”を経て、27年は42.5%の上昇に転じた。その後は、28年43.4%⇒29年43.9%⇒30年44.6%と、4年連続の上昇で過去最高を更新した。

③ 現役生、既卒者の志願者数

- センター試験志願者の現役生は20年に減少したが、21年～23年は3年連続で増加。24年は4年ぶりの減少、25年は高卒者数の3年ぶりの増加などで2年ぶりに約2万人(4.6%)増の約46万人だった。26年は高卒者数の2年ぶりの大幅減などから、現役志願者も2年ぶりに減少した。27年は、高卒者数の増加と大学「現役志願率」の上昇などから、現役志願者数は2年ぶりに約1万2,000人増の約45万5,000人。28年は、高卒者数は減少したものの、大学「現役志願率」の上昇と現役志向の強い女子の志願者増によって、約7,000人増の約46万2,000人となった。29年は高卒者数の増加と大学「現役志願率」の上昇などから約9,500人増の約47万2,000人となった。

30年は高卒見込み者の減少が予測されるものの、大学「現役志願率」の上昇などが

見込まれ、前年より約 1,700 人(0.4%)増の約 47 万 4,000 人となった。

- 一方、既卒者も前年より約 4,800 人(4.9%)増の約 10 万 4,000 人で、2 年連続の増加。

④ 高校等の学科別でみた出願状況

高校等の志願者(現役・既卒含む)の 9 割以上を占める普通科の志願者数は、前年より 6,359 人(1.2%)増の 53 万 839 人(構成比率 91.9%)である。

このほか、総合学科が 1 万 1,797 人(構成比率 2.0%、増加率 3.9%)、理数科が 1 万 480 人(同 1.8%、減少率 0.7%)などとなっている。

⑤ 都道府県別でみた主な出願状況

* 志願者数 :

東京が 7 万 5,990 人で例年どおり突出していて、これに愛知(4 万 195 人)、神奈川(3 万 7,990 人)、大阪(3 万 5,156 人)、埼玉(3 万 2,308 人)、兵庫(2 万 6,611 人)、千葉(2 万 6,391 人)、福岡(2 万 3,472 人)と、29 年と同じ顔ぶれが続く。

今回特に増加した人数が多かったのは、東京(2,236 人増)、大阪(1,993 人増)、神奈川(1,055 人増)、千葉(716 人増)、埼玉(605 人増)、兵庫(397 人増)、茨城(250 人増)、愛知(233 人増)、栃木(226 人増)など、都市部とその周辺が目立つ。

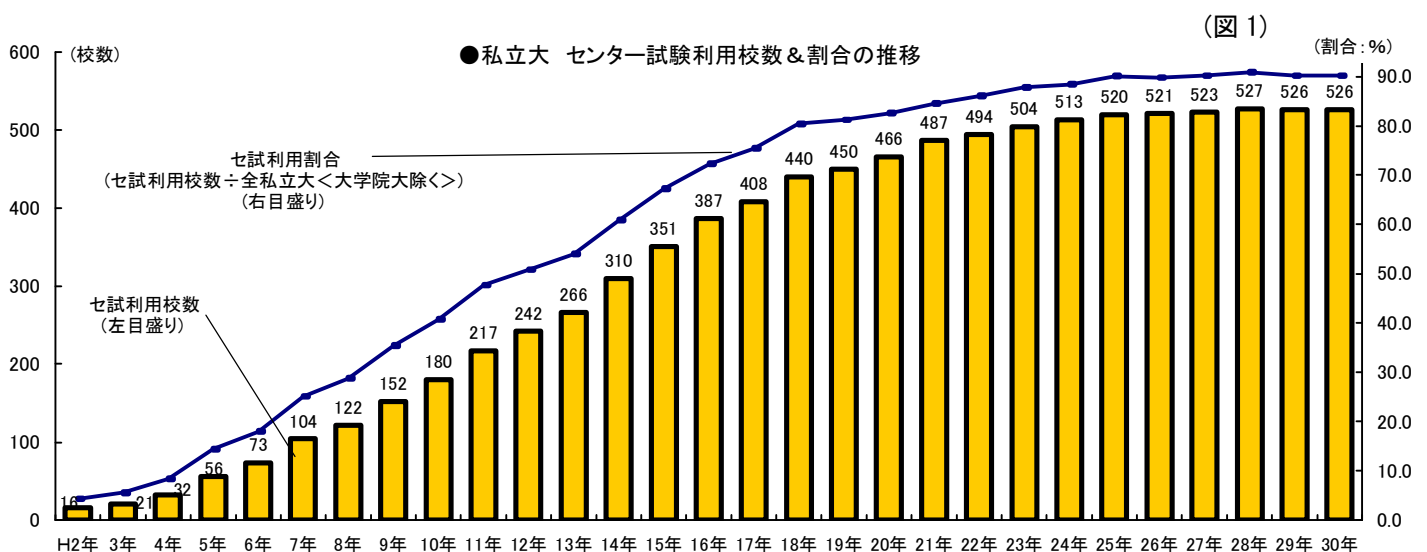
一方、減少した人数が多かったのは、福岡(379 人減)、福島(199 人減)、北海道(182 人減)、広島(179 人減)、三重(140 人減)、青森(131 人減)、岡山(129 人減)など、地方が目立つ。

* 現役志願率 :

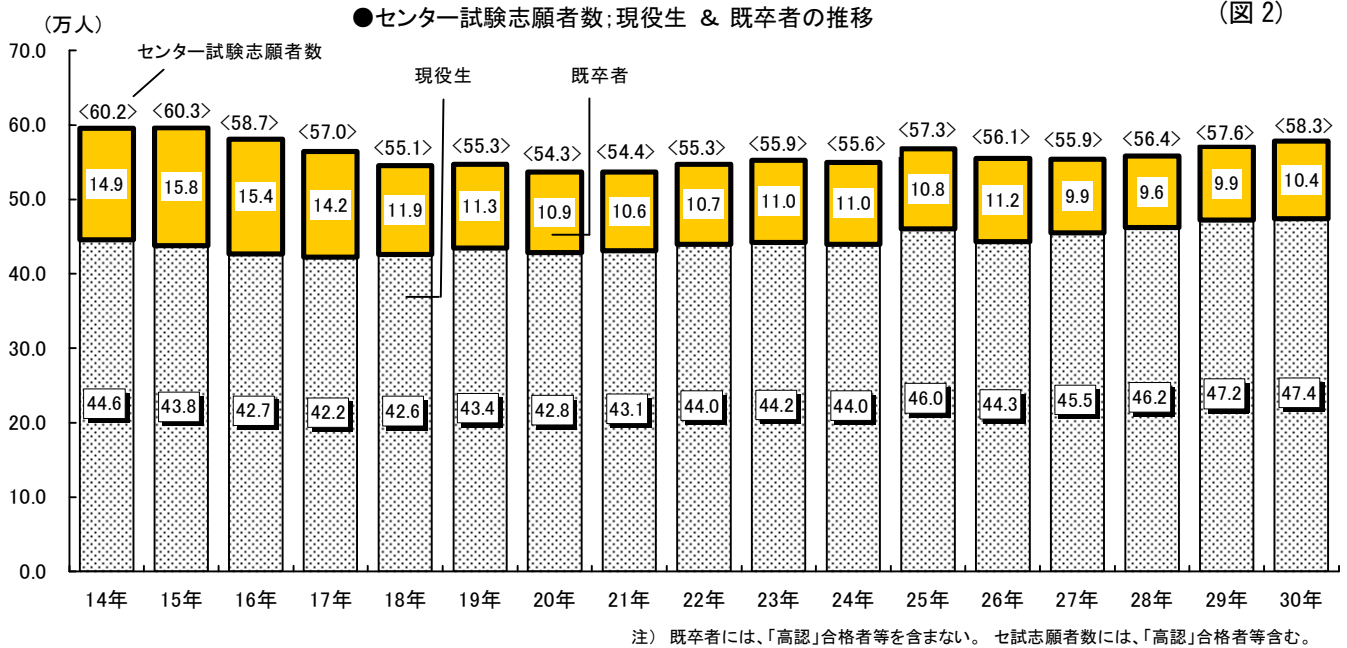
東京(現役志願率 58.1%)が 6 年連続で首位をキープし、これに 2 位広島(同 55.2%)・3 位愛知(同 52.5%)以下、富山、石川、山梨、新潟、兵庫、愛媛、栃木、群馬、埼玉、福岡、静岡、神奈川と、45%以上の高率が続いている。

⑥ 「2 教科以下」志願者割合、0.2 ポイント下降の 3.2%

「2 教科以下」志願者は、前年より 587 人(3.0%)減の 1 万 8,912 人で、全志願者に占める割合は前年より 0.2 ポイント下降の 3.2%である。

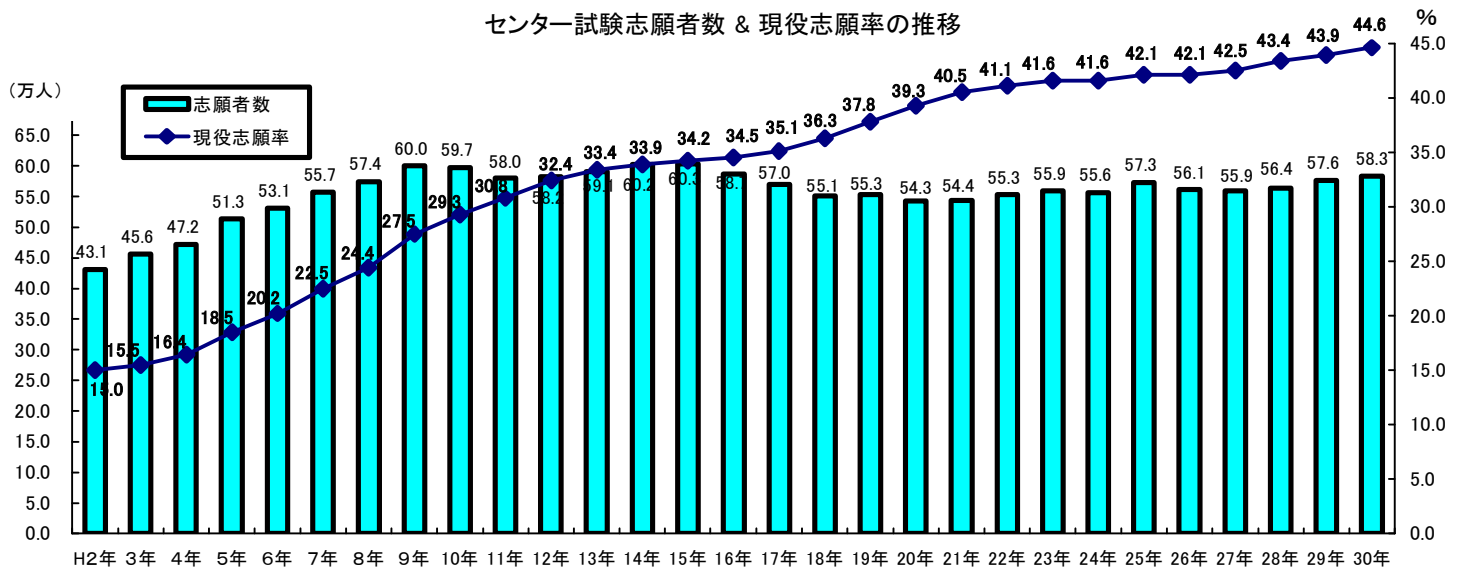


(図 2)



(図 3)

センター試験志願者数 & 現役志願率の推移



☆ 次ページに、「都道府県別 センター試験現役志願率 推移」の一覧を掲載。 ☆

●都道府県別 センター試験現役志願率 推移

	30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年	22年	2年
1 北海道	35.7%	34.7%	34.6%	33.5%	33.0%	33.0%	32.9%	32.9%	32.1%	13.4%
2 青森	34.4%	34.4%	34.8%	34.1%	33.8%	34.2%	33.7%	32.8%	32.8%	14.5%
3 岩手	43.8%	42.8%	45.0%	42.4%	42.0%	41.0%	41.7%	40.7%	39.3%	15.8%
4 宮城	37.1%	37.3%	37.0%	37.1%	36.6%	37.1%	35.3%	33.9%	33.7%	11.7%
5 秋田	40.7%	40.0%	39.5%	39.8%	39.3%	39.8%	40.1%	39.9%	39.4%	13.9%
6 山形	38.2%	38.4%	37.9%	38.1%	37.0%	37.0%	39.9%	38.7%	38.7%	16.5%
7 福島	36.3%	35.9%	35.8%	34.2%	33.9%	33.6%	31.9%	32.3%	32.2%	12.7%
8 茨城	44.9%	44.6%	45.2%	44.3%	43.4%	43.2%	42.9%	41.9%	43.2%	11.9%
9 栃木	47.0%	45.7%	45.9%	45.0%	43.7%	43.6%	43.3%	44.8%	44.1%	13.1%
10 群馬	46.9%	47.3%	46.3%	45.0%	44.9%	45.7%	45.7%	44.6%	44.4%	13.9%
11 埼玉	46.9%	46.1%	45.6%	44.1%	42.8%	42.6%	41.9%	42.6%	42.2%	9.4%
12 千葉	43.0%	42.2%	41.2%	40.2%	39.5%	39.7%	39.2%	39.5%	39.7%	9.7%
13 東京	58.1%	57.1%	56.2%	54.9%	53.7%	52.7%	51.3%	50.8%	48.8%	11.8%
14 神奈川	45.1%	44.3%	44.2%	43.0%	42.4%	42.6%	41.7%	41.5%	40.9%	10.4%
15 新潟	47.5%	46.2%	46.9%	46.1%	44.8%	43.5%	42.9%	42.6%	41.4%	12.5%
16 富山	52.1%	52.0%	50.6%	51.6%	51.0%	51.3%	51.7%	52.1%	50.8%	27.7%
17 石川	50.7%	49.4%	48.7%	49.8%	48.0%	48.6%	46.7%	48.0%	48.5%	19.6%
18 福井	44.5%	44.2%	44.3%	44.4%	43.9%	43.6%	43.5%	44.4%	45.4%	22.7%
19 山梨	48.4%	48.7%	49.4%	47.3%	47.5%	47.7%	48.4%	48.4%	48.2%	13.8%
20 長野	44.1%	44.5%	43.6%	41.9%	42.2%	42.8%	44.6%	44.0%	42.9%	12.8%
21 岐阜	42.3%	42.4%	42.3%	41.7%	41.0%	41.6%	40.0%	40.9%	40.7%	18.3%
22 静岡	45.6%	44.9%	44.6%	44.8%	44.7%	44.4%	44.6%	43.9%	43.8%	13.8%
23 愛知	52.5%	52.6%	52.1%	52.3%	51.5%	51.9%	51.4%	51.1%	50.5%	21.2%
24 三重	40.3%	39.7%	39.8%	39.3%	39.6%	40.1%	40.3%	41.0%	40.6%	14.6%
25 滋賀	40.6%	40.9%	39.8%	38.9%	39.7%	39.9%	39.8%	39.7%	40.4%	12.8%
26 京都	37.3%	36.8%	34.7%	34.6%	34.7%	34.7%	35.5%	36.0%	36.7%	12.8%
27 大阪	36.2%	33.8%	32.7%	32.1%	32.7%	32.5%	31.2%	31.7%	31.5%	11.9%
28 兵庫	47.3%	46.1%	44.2%	43.9%	42.9%	43.4%	43.1%	43.4%	43.0%	16.4%
29 奈良	44.9%	45.0%	43.8%	44.5%	43.7%	44.0%	43.1%	42.2%	43.9%	15.5%
30 和歌山	35.6%	34.8%	34.8%	33.0%	34.2%	33.2%	33.9%	34.4%	33.6%	11.8%
31 鳥取	42.6%	43.5%	42.9%	40.8%	42.5%	42.9%	43.2%	43.5%	42.9%	21.2%
32 島根	43.3%	43.2%	45.4%	45.4%	46.1%	45.7%	48.3%	46.4%	47.7%	22.9%
33 岡山	42.2%	42.1%	41.5%	40.1%	40.5%	41.3%	40.5%	40.2%	40.4%	25.7%
34 広島	55.2%	54.8%	54.9%	53.0%	51.8%	51.9%	51.6%	52.0%	50.3%	17.6%
35 山口	38.2%	36.1%	36.9%	35.9%	35.4%	37.4%	37.2%	37.4%	37.3%	19.1%
36 徳島	44.0%	44.1%	43.5%	42.4%	42.5%	44.1%	44.0%	46.3%	44.9%	22.1%
37 香川	42.2%	42.1%	41.5%	38.9%	41.5%	40.1%	40.4%	40.8%	41.7%	20.9%
38 愛媛	47.1%	44.8%	45.6%	44.5%	43.6%	43.4%	42.9%	43.1%	43.5%	22.5%
39 高知	39.3%	39.8%	39.4%	38.1%	37.9%	37.4%	36.4%	37.2%	35.7%	14.4%
40 福岡	46.1%	46.3%	45.9%	45.0%	45.3%	45.0%	44.8%	45.9%	44.3%	19.3%
41 佐賀	41.9%	41.6%	41.8%	40.9%	41.6%	41.4%	40.7%	40.3%	41.1%	18.7%
42 長崎	38.8%	37.8%	38.9%	38.2%	38.7%	38.6%	37.6%	37.8%	38.1%	24.3%
43 熊本	37.7%	36.8%	36.6%	35.7%	36.8%	36.1%	35.9%	35.9%	35.5%	17.0%
44 大分	34.1%	33.5%	33.2%	33.8%	33.4%	34.0%	33.4%	33.7%	34.5%	22.6%
45 宮崎	39.0%	38.8%	37.9%	37.3%	38.0%	37.9%	38.4%	38.3%	39.0%	25.7%
46 鹿児島	39.1%	38.0%	38.5%	37.3%	36.9%	37.6%	37.0%	37.3%	36.7%	22.3%
47 沖縄	29.5%	29.4%	28.7%	27.3%	27.1%	27.2%	27.8%	26.9%	24.6%	14.9%
全国	44.6%	43.9%	43.4%	42.5%	42.1%	42.1%	41.6%	41.6%	41.1%	15.0%

注 ①現役志願率＝高校等新規卒業生（高校全日制3年・定時制4年、中等教育学校後期課程3年在学者）における、センター試験志願者の割合。
 ②2年はセンター試験初実施の値。
 ③大学入試センター発表資料による。29年の熊本県のみ旺文社で算出（センター発表数値が熊本地震の影響による仮数値であったため）。